

令和 7 年度政策方針評価

政策：01	やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち	1p
政策：02	こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち	4p
政策：03	誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち	8p
政策：04	様々な産業の活性化が繋がり広がるまち	11p
政策：05	ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち	14p
政策：06	学びにより充実した人生を送ることができるまち	17p
政策：07	新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門	21p

進捗状況の評価基準

【数値の増加を目標とする指標】

A：進捗率 100%以上	B：進捗率 80%以上 100%未満
C：進捗率 50%以上 80%未満	D：進捗率 50%未満

【数値の減少を目標とする指標】

A：進捗率 100%以下	B：進捗率 100%超 120%以下
C：進捗率 120%超 150%以下	D：進捗率 150%超

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 高橋 克周
----------	--------------

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
お互いを思いやり個性や多様性を尊重し合うとともに、つながりによる絆を深めながらお互いを支え合い、市民一人一人が安全で安心な住み良い地域の未来を考え、共に行動しているまちを目指します。	
【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	
「やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち」の実現を目指すためには、市民のライフスタイルが多様化する中、地域での生活や様々な活動において、お互いを思いやり一人一人の個性を尊重しながらあらゆる世代がかかわりつながることは、持続可能な社会を構築していくためには重要と考えます。また、地域で様々な人や団体とのつながりを保ちながら暮らし、共に支え合い主体的に行動するための地域活動を支援することは、「かかわりによる市民主体活動を後押しできる環境づくり」に繋がるものです。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1	地域とつながっていると感じている人の割合							
		42.7	43.3	43.9	44.5	45.1	45.1	A	
単 位 %	45.5		46.8	-	-	-	103.8		
		単 位							
		単 位							

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策関連指標		基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	01010100 つながり支え合う、市民主体の地域づくり 滝沢市に愛着がある人の割合									
	単 位	%	68.9	70.5 71.3	72 72.8	73.5 -	75 -	75 -	B 97.1	
2	01010200 安全で安心できるまちづくり 災害に強いまちだと感じている人の割合									
	単 位	%	46.4	47 44	47.6 46.4	48.2 -	48.8 -	48.8 -	B 95.1	
3	01010200 安全で安心できるまちづくり 子どもが安全に通学できると感じる人の割合									
	単 位	%	67.7	68.3 71.8	68.9 67.7	69.5 -	70.1 -	70.1 -	B 96.6	
4	01010300 自然と共生し、資源を大切にする生活環境づくり 一人1日当たり家庭系ごみ排出量									
	単 位	g	514	473 488	465 482	457 -	448 -	448 -	B 107.6	
5	01010400 環境変化に対応し、安心して信頼される窓口づくり 窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合									
	単 位	%以上	72.4	78 74.7	79 77.1	80 -	80 -	80 -	B 96.4	
		単 位								

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 高橋 克周
----------	--------------

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
・第2次滝沢市総合計画地域別計画に基づき、市民主体の地域づくりを支援するとともに、大学等へ出向いての出前講座において、滝沢市男女共同参画計画による多様性を尊重する社会づくりへの理解を深めました。 ・各種防災訓練や「たきざわあそぼうさい」を行い、市民の消防及び防災への関心を深めるとともに、交通事故や犯罪のない安全で安心な地域づくりに努めました。 ・家庭ごみの排出量及び二酸化炭素の排出量削減に取り組みました。 ・信頼される窓口運営のため、住民情報の適正管理を徹底しました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 ・多様性を意識しながら市民主体の地域づくりを支援 ・防災防犯意識の醸成を図ることによる地域防災力の強化 ・市内企業と連携した地球温暖化対策への取り組みやごみ減量化への意識醸成等を目指しての第1次滝沢市環境基本計画の推進 ・デジタル技術を活用した市民にやさしい窓口の推進と信頼される窓口運用 【重点課題に対する達成状況】 ・市民主体の地域づくり活動に積極的に参画しました。 ・地域の防災に関する事業を展開したほか、企業のカーボンニュートラルへの取組を支援しました。	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 ・人口減少中で、今後は、世帯数も減少に転じると予想されます。 ・大雨災害等、大規模な災害が、日本各地で頻発しています。気象庁から防災気象情報に変更となる見込みです。 ・マイナンバーカード普及による各種手続きのデジタル化が進展し、オンライン化等のサービス向上が求められます。 【内部環境】 ・各課業務推進にあたる課題が、多様化・複雑化しています。 ・マイナンバーカードの更新件数が増える中、柔軟な窓口対応が必要です。	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする

(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・地域づくり活動への適切な支援及び自治会の負担軽減措置が必要です。 ・地域防災力の維持向上が必要です。 ・循環型社会の構築とカーボンニュートラルの実現に向け、意識醸成が必要です。 ・職員の働き方も意識した窓口サービスあり方の検討が必要です。 【引継課題】 ・地域活動の拠点となる施設整備・維持管理への継続的な支援 ・広域的なごみ処理及びし尿処理体制について、関係市町による継続的な協議及び連携 ・お互いの支え合いを基本とした自主防災組織の維持・強化、連携と協働による体制づくり ・自治体DXの推進に合わせたオンラインサービスに精通する人材の育成	

政 策 : 01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

(2) 所管施策別事業費実績表

3

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

担当部長職・氏名	健康こども部長 猿舘 睦子
----------	---------------

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
「心身の健康」は誰もが望むことであり、いくつになっても健康に関心を持ち、身体的、精神的に成長することで生きがいづくりにもつながります。また、未来を担うこどもの健やかな成長は、保護者はもちろん、地域全体の願いです。地域で子育てを支える機運を高め寛容性の向上を図ることは、社会全体が成長していくことでもあります。このように、すべての年代の人が安心して暮らし、健康で成長できるまちを目指します。	
【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	
「こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち」の実現を通して、市民の生活の基盤である心身の健康の保持増進が図られます。また、子どもを安心して産み育てられる環境や家庭や地域が一体となって子どもの成長を後押しできる環境が育まれます。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単 位 %	56.3	57 60.3	58 60.8	59 -	59 -	59 -	A 103.1	
2	こどもが大切に育てられていると感じている人の割合 単 位 %	79	80 80.6	81 81.7	82 -	83 -	83 -	B 98.4	
	単 位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施 策 関 連 指 標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	02010100 健康意識と行動を変える健康づくりの総合企画 自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単 位 %	56.3	57 60.3	58 60.8	59 -	59 -	59 -	A 103.1	
2	02010200 こどもが安心して暮らせる環境づくり 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	28.3	33 27.3	36 32.1	39 -	42 -	42 -	C 76.4	
3	02010200 こどもが安心して暮らせる環境づくり 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単 位 %	73.5	76 83	78 83.2	80 -	82 -	82 -	A 101.5	
4	02010300 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化 こどもが大切に育てられていると感じている人の割合 単 位 %	79	80 80.6	81 81.7	82 -	83 -	83 -	B 98.4	
5	02010300 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）割合 単 位 %	73.5	76 83	78 83.2	80 -	82 -	82 -	A 101.5	
6	02010400 安心して暮らせる社会保険制度の推進 自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単 位 %	56.3	57 60.3	58 60.8	59 -	59 -	59 -	A 103.1	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

担当部長職・氏名	健康こども部長 猿舘 睦子
----------	---------------

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名 施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
7	02010400 安心して暮らせる社会保険制度の推進 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	A	
			19.1	19.4	-	-	-	106.6	
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

担当部長職・氏名	健康こども部長 猿舘 睦子
----------	---------------

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
・健康寿命の延伸やQOLの向上を目指し、望ましい生活習慣を身につけるための動機づけや相談支援、疾病の予防・早期発見・早期治療につなげるための各種事業を実施し、運動習慣や食生活改善、こころの健康づくり等の啓発と実践の場の教室等の開催に努めました。 ・滝沢市子ども・子育て支援事業計画に基づく、幼児期の教育・保育サービスの提供や地域子ども・子育て支援事業等の実施により、安心して子育てができる環境を整備しました。 ・全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対する包括的な支援を行うため、こども家庭センターを設置し、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、切れ目ない相談支援を行いました。 ・安心して医療を受けるための医療費給付事業の充実に向けて事務を実施しました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】・健(検)診の受診しやすい仕組みづくりやウオーキング等歩くことによる健康づくりの啓発に努めます。 ・幼児教育・保育施設における待機児童の解消に努めます。 ・5歳児健診の実施に向けて、健診・相談体制を整え、就学に向けての切れ目ない支援の充実を図ります。 ・安心して医療を受けるための医療費給付事業の充実を図ります。 【重点課題に対する達成状況】 ・健(検)診の受診率向上やウオーキング等の教室開催、健康づくりの多様な主体の育成と支援を行いながら、地域全体での健康づくりの定着化を図りました。 ・新規保育所の開設等により待機児童の解消に努めました。 ・5歳児健診の実施により、幼児の健康の保持増進と就学に向けての切れ目ない支援体制の構築に取り組みました。 ・妊産婦等医療費給付事業については所得制限を撤廃し、引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減について検討しました。	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 ・2040には高齢者の割合がピークを迎え、生産年齢人口が急減する人口構成の変化 ・国の医療DXの推進 ・国の社会保障制度の動向 ・少子化、核家族化、就労形態の多様化 ・こども基本法の施行 ・母子保健、子ども・子育てに関する各種法令の改正 【内部環境】 ・制度改正による事務量の増加や多様な家庭環境に関する相談業務の複雑化 ・職員の人材育成、職員間の知識・スキルの継承	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする

(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・引き続き、健康寿命の延伸を目指し、個人及び地域全体での健康意識の向上と健康行動の動機づけや定着のため、健康教室等の事業の実施や環境づくりを進めます。 ・令和8年度に策定する「滝沢市子ども計画」に基づき、子ども・子育て支援サービスの充実に関する取組を推進します。 ・安心して育ちの相談ができるよう乳幼児健診の実施と関係者が連携したフォローアップ体制の構築に努めます。 ・こども医療費給付事業は全国的に拡充しており、他の子育て支援事業や財政状況を見据えながら総合的に検討します。 【引継課題】 ・多様な子育て支援サービスの質と量の充実、子どもの居場所づくりと環境改善への対応 ・母子保健DXの対応 ・国民健康保険の県単位での広域化・統一化への対応	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 : 02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

担当部長職・氏名	健康こども部長 猿舘 睦子

(2) 所管施策別事業費実績表

[illegible]

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

担当部長職・氏名	福祉部長 杉村 英久
----------	------------

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
人びとの暮らしや地域のあり方が多様化している中、地域に生きる一人一人が尊重され、多様な経路で社会とつながり参画することで、その生きる力や可能性を最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現を目指します。	
【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	
助け合いながら暮らしていくことのできるまちの構築により、自分らしい暮らしと一人一人の生きがいや役割をもてる地域社会を実現します。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	A	
			19.1	19.4	-	-	-	106.6	
	単 位								
	単 位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施 策 関 連 指 標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	03010100 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43	43.5	44	45	45	A	
			41.5	46.8	-	-	-	104.0	
2	03010100 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現 障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合 単 位 %	22	22.5	23	23.5	24	24	A	
			23	29.9	-	-	-	124.6	
3	03010200 生活困窮者が安定した暮らしができるようにするための支援の推進 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43	43.5	44	45	45	A	
			41.5	46.8	-	-	-	104.0	
4	03010300 自分らしく暮らせる長寿社会の実現 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	A	
			19.1	19.4	-	-	-	106.6	
5	03010400 高齢者が地域で暮らし続けられるための支援の推進 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	A	
			19.1	19.4	-	-	-	106.6	
	単 位								

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 03 誰もが自分らしい暮らしと生きたいをもてるまち

担当部長職・氏名	福祉部長 杉村 英久
----------	------------

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する
(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
・包括的な相談支援体制の構築や福祉サービス等の充実を図りました。 ・関係機関との連携による生活保護受給者への支援の強化に取り組みました。 ・高齢者が尊厳を保持し、能力に応じ自立して生活できる取組を推進しました。 ・地域包括支援センターの機能強化に取り組みました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 ・地域共生社会の実現に向けて、重層的支援体制整備事業を進める必要があります。 ・障害がある方が地域等で安心して暮らせるよう、支援体制づくりを進める必要があります。 ・生活保護をはじめとした生活に困窮されている方の支援体制を強化する必要があります。 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化させる必要があります。 【重点課題に対する達成状況】 地域共生社会の実現に向け、障害者や生活困窮者等の支援を強化するため、関係機関との連携による重層的支援体制整備事業の構築に取り組みました。また、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、中部圏域における委託型地域包括支援センターの設置に向けた具体的な検討を進めました。	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 ・人口減少や高齢化の進展により地域の担い手不足、相互扶助機能の衰退がみられます。 ・多様な価値観やライフスタイルの変化に伴って、家族の在り方や自助の意識も変容しています。 ・物価高騰等社会経済情勢によって、就労収入も影響を受け、生活困窮者は今後も増加していくことが想定されます。 ・本市の老年人口がピークを迎える2045年を見据えたサービス基盤、人的基盤を整備し、地域共生社会の実現に向けた取組の推進、地域包括ケアシステムの深化と推進に向けた施策の展開を図る必要があります。 【内部環境】 ・多様な障害や市民ニーズに対応するため、専門的な知識や経験を必要とする業務が今後ますます増加していきます。 ・定年延長に伴うベテラン職員の活用と同時に、若手職員に対する知識・技術の継承、人材育成が不可欠となっています。	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする
(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・包括的な相談支援体制の構築や福祉サービス等の充実を図ります。 ・関係機関との連携による生活保護受給者への支援の強化に取り組みます。 ・高齢者が尊厳を保持し、能力に応じ自立して生活できる取組を推進します。 ・地域包括支援センターの機能強化に取り組みます。 【引継課題】 ・市民、地域、関係団体や企業等も含めた全市的な地域共生社会の構築に向けた取組 ・生活困窮者の自立に向けた関係機関とのさらなる連携による支援体制の強化 ・介護保険制度の適正な運用 ・委託型地域包括支援センターとそれを支える基幹型地域包括支援センターの連携による地域包括ケアシステムの深化	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 : 03 誰もが自分らしい暮らしと生がいをもてるまち

担当部長職・氏名	福祉部長 杉村 英久

(2) 所管施策別事業費実績表

[illegible]

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 木下昇三
----------	-------------

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
地域の産業に関わる方々が活動しやすい、挑戦しやすい環境をつくることで、1次産業、2次産業、3次産業など様々な分野において産業の活性化に繋がる取組が生まれ、これら一つ一つの取組を繋ぐことで、連携が生まれ、分野を超える大きな産業の活性化へと広がるまちを目指します。	
【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	
「様々な産業の活性化が繋がり広がるまち」は、一つ一つの産業の活性化の取組が繋がりをつくることで大きな活性化に繋げることを目指しており、その過程においては、繋がりが重要となっていることから、繋がりを後押しする取組を強化することで基本構想が目指す状態を目指します。また、産業の活性化は地域の雇用に繋がり、所得面でのセーフティネットの堅持に繋がることから、基本構想が目指す状態の基盤をつくるものとなります。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	現在の仕事に満足している人の割合								
	単 位 %	48.5	49.5	50.5	51.5	53	53		A
			51.9	54.4	-	-	-		102.6
2	活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合								
	単 位 %	20.4	21.3	22.2	23.1	24	24		A
			19.2	24	-	-	-		100.0
	単 位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施 策 関 連 指 標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	04010100 連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備								
	滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合								
	単 位 %	45.7	46.5	47	50	51	51		B
			43.4	46.2	-	-	-		90.6
2	04010100 連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備								
	滝沢市に愛着がある人の割合								
	単 位 %	68.9	70.5	72	73.5	75	75		B
			71.3	72.8	-	-	-		97.1
3	04010200 I C T関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化								
	市の特色を活かした産業があると感じている人の割合								
	単 位 %	25.7	26.5	27.3	28.1	30	30		B
			24.7	28.3	-	-	-		94.3
4	04010300 多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造								
	活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合								
	単 位 %	20.4	21.3	22.2	23.1	24	24		A
			19.2	24	-	-	-		100.0
5	04010400 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進								
	農業の担い手がいると感じる人の割合								
	単 位 %	7.2	7.9	8.6	9.3	10	10		B
			8.9	9.2	-	-	-		92.0
6	04010400 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進								
	地場産品が広く販売されていると感じる人の割合								
	単 位 %	39.2	40.7	42.2	43.6	45	45		A
			38.9	45.6	-	-	-		101.3

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 木下昇三
----------	-------------

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
・（一社）滝沢市観光物産協会との連携により観光産業の創出のための事業実施や物産振興のためコンクールの実施などを行いました。 ・ ICT関連を中心とした産業集積の促進のため、イノベーションパーク拡張のための基本計画の策定と岩手県立大学との連携による人材育成等の事業を行いました。 ・ 多様な連携により、若者が活躍できる環境づくりと価値の創造のため、滝沢ミライプロジェクトを中心とした若者活躍推進のための事業実施や助成金制度の整備を行いました。 ・ 持続可能な農林水産業の推進を図るため、地域計画の実行のための地域との継続した話し合いや立ち上げた法人の支援を行いました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 ・ チャグチャグ馬コの維持保存、資源を活かした観光メニュー開発、地域産品の開発 ・ イノベーションパーク拡張のための基本計画の策定、県立大学や企業との企業学群構想を中心とした連携強化 ・ 「学生と企業」や「学生と地域」などの連携・交流推進 ・ 地域計画に基づき、法人を中心とした活動による地域農業の活性化 【重点課題に対する達成状況】 ・ ふるさと納税を活用したチャグチャグ馬コ保存のためのクラウドファンディングの実施、特産品開発コンクールの実施 ・ イノベーションパーク拡張計画の策定、連携による人材育成や交流事業の実施、若者活躍支援事業や助成事業の実施 ・ 地域計画実行のための地域との話し合いの継続、ライセンスセンター整備についての調整	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 ・ 中東情勢の緊迫化による原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰、物流の遅延による海上運賃上昇の恒常化 ・ 米国の関税政策やグローバルサプライチェーンの分断によるリスクの継続、地場企業への調達価格転嫁の圧力の強まり ・ 生産年齢人口の減少に加え、働き方改革による労働規制の定着、全産業で自動化・ロボット化の必要性の高まり ・ 原材料高騰を背景とした物価高の継続、中堅・中小企業における継続的な賃上げの要請、稼ぐ力の強化の高まり ・ 新しい生活様式と価値観の変化によるデジタルシフトや多様な働き方の定着、従来型地域経済コミュニティの変化 【内部環境】 ・ IT、デジタル技術の活用レベルを上げる必要性の高まり ・ 岩手県立大学等の教育研究機関との連携の枠組みは構築されつつあり、具体的なビジネス創出の進展の必要性の拡大 ・ 人口減少下における生活インフラや地域雇用を維持するための採算性維持や人材定着の持続性の揺らぎ ・ 地域経済を維持するための価格転嫁、事業承継、M&Aなどをサポートする人材の不足 ・ 課題が多様化、複雑化していることによる業務の多様化、複雑化に対応する人員の不足	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする

(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・ チャグチャグ馬コの維持保存の取組継続と地域資源を活かした観光メニュー、物産品の開発 ・ イノベーションパーク拡張計画の策定、県立大学や企業との企業学群構想を中心とした連携強化 ・ 若者との交流機会の創出の継続、若者活躍のためのイベント創出と助成金による支援 ・ 地域計画に基づき、法人を中心とした活動による地域農業の活性化、多様な担い手の発掘と育成の推進 【引継課題】 ・ 市内事業者との具体的な連携のためのマッチングの強化 ・ 産学官連携のさらなる強化による具体的な開発等の創出 ・ 若者が活動しやすい環境の創出と新たな挑戦への動機付け ・ 地域での話し合いによる地域計画の具現化と新たな農作物等の検討	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 : 04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 木下昇三

(2) 所管施策別事業費実績表

[illegible]

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長兼上下水道部長 古前田 聡
----------	---------------------

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
市民の理解や共感を得ながら、豊かな自然と調和のとれた生活基盤の整備や維持を計画的に行うことにより、ひとにやさしく、快適で安全・安心に暮らすことができる住みやすいまちづくりを目指します。	
【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	
「ひとにやさしく、快適で安全・安心に暮らすことができる住みやすいまち」の実現は、市民生活の基盤である住みやすい住環境を維持することを指しており、そのために市は、地域が抱える課題に対して「かかわり」を持ち後押しします。また協働除雪や互助輸送、自然環境保全による水資源保護等の市民が主体となり得る活動を支援することにより、持続可能な地域づくりへの意識の高まり、さらには、かかわりによる市民主体の活動環境づくりを醸成し、地域づくりの基盤となるセーフティネットの堅持に繋がります。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標1 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単 位 %	68.3	69	70	71	72	72	B	
			71.6	70.8	-	-	-	98.3	
	単 位								
	単 位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施 策 関 連 指 標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	05010100 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単 位 %	68.3	69	70	71	72	72	B	
			71.6	70.8	-	-	-	98.3	
2	05010200 計画的な道路整備と維持管理の推進 交通事故発生件数 単 位 件以下	41	41	41	41	41	41	D	
			42	72	-	-	-	175.6	
3	05010300 河川及び公園の計画的な整備・改修と維持管理の推進 災害に強いまちだと感じている人の割合 単 位 %	46.4	47	47.6	48.2	48.8	48.8	B	
			44	46.4	-	-	-	95.1	
4	05010400 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信 経営資本営業利益率（水道） 単 位 %	1.1	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	A	
			1.2	0.9	-	-	-	180.0	
5	05010400 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信 経費回収率（下水道） 単 位 %	99.6	100	100	100	100	100	B	
			99.6	99.6	-	-	-	99.6	
6	05010500 安心・安全かつ強靱な上下水道施設の整備と自然環境保全及び水循環の推進 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単 位 %	73.3	79	80	81	82	82	B	
			71.7	73.5	-	-	-	89.6	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長兼上下水道部長 古前田 聡
----------	---------------------

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
・中心拠点形成のため、開発事業者と継続して協議をし、開発を支援しました。 ・空き家の適正管理に係る助言等を行い、良好な住環境の維持を図りました。 ・盛岡都市圏(盛岡市、滝沢市、矢巾町)と共同し、盛岡都市圏地域公共交通計画を策定しました。 ・幹線市道の整備や河川の改修を継続して実施しました。 ・持続可能な協働除雪の体制の構築に向け、オペレーターの資格補助制度を周知し、その確保に努めました。 ・中長期の改築・更新を目的とした水道施設更新計画を策定しました。 ・健全かつ持続可能な経営のため、下水道使用料の見直しを実施しました。 ・市民の理解促進と参画意識醸成のため、滝祭の参加、水の日イベント開催等の広聴広報の充実を図りました。 ・研修会等に参加し、部門別に専門的な知識・技術を学ぶなど人材の育成を図りました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 ・中心拠点商業地区の整備 ・地域公共交通の維持・確保に向けた取組 ・空家等対策への取組 【重点課題に対する達成状況】 ・市道向新田線が開通し、商業施設が開業に至りました。 ・持続可能で使いやすい交通体系の実現のための盛岡都市圏地域公共交通計画を3市町共同で策定しました。 ・特定空家等の略式代執行により建築物1件を除却し、良好な住宅環境形成を図りました。	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 ・従来の物価高騰に加え、中東情勢による資材不足・価格高騰が与えるインフラ・交通事業への影響 ・激甚化・頻発化する自然災害 ・人口減少化における交通・工事等事業者の担い手不足 【内部環境】 ・道路、河川、上下水道等の膨大なインフラ施設のマネジメント ・多様化、複雑化する事務事業への職員対応	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする

(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・道路、上下水道等のインフラを維持管理するために歳入を確保し、長期計画により事業を展開する必要があります。 ・人口減少や地域の高齢化に対応するために、生活機能の集約や公共交通ネットワークの構築などを考慮したまちづくりが必要になります。 【引継課題】 ・インフラ施設を計画的に維持管理・更新等するため、国等への要望などの財源確保活動を継続する必要があります。 ・市民協働で実施している除雪・除草等の事業における連携体制の検証が必要です。 ・上下水道を持続可能とするため、定期的な料金等の妥当性の検証や経営分析が必要です。	

政 策 : 05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

(2) 所管施策別事業費実績表

16

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名	教育次長 滝田 俊一
----------	------------

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
市民の誰もが生涯にわたりそれぞれのステージで学ぶことができる環境が整っていることは、充実した人生を送るうえで重要です。そのために、子どもたちの学習環境をはじめ、すべての世代が教育や文化によって心豊かに暮らすことができる環境の充実を図ることで、市民一人一人が充実した人生を送ることができるまちを目指します。	
【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	
「学びにより充実した人生を送ることができるまち」の実現を通じて、市民が主体的に学ぶことができる環境や学んだことが地域に生かされる「学びの好循環」が生まれ、かかわりによる市民主体活動を後押しできる環境が育まれます。また、安全・安心な教育環境の充実が図られ、学びの基盤づくりにつながります。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単 位 %								
		59	60	61	62	63	63	A	
			63.1	68.7	-	-	-	109.0	
2	指標 2 趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単 位 %								
		13.8	14	15	16	17	17	B	
			14.2	15.4	-	-	-	90.6	

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名 施策関連指標		基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	06010100 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合									
	単 位 %		28.3	33	36	39	42	42	C	
				27.3	32.1	-	-	-	76.4	
2	06010100 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実 子ども達が生き生きとしていると感じている人の割合									
	単 位 %		42.6	43	44	44	45	45	A	
				39.7	46.3	-	-	-	102.9	
3	06010200 「生きる力」を育む学校教育の充実 5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童の割合(小学校)									
	単 位 %以上		81	81	81	81	81	81	A	
				80.6	84.5	-	-	-	104.3	
4	06010200 「生きる力」を育む学校教育の充実 1、2年生の時に受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた生徒の割合(中学校)									
	単 位 %以上		87	87	87	87	87	87	B	
				81.7	84	-	-	-	96.6	
5	06010300 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合									
	単 位 %		42.9	43	43.5	44	45	45	A	
				41.5	46.8	-	-	-	104.0	
6	06010400 文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数									
	単 位 人以上		2,642	2,680	2,740	2,800	2,850	2,850	C	
				2,546	2,243	-	-	-	78.7	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名	教育次長 滝田 俊一
----------	------------

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名 施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
7	06010400 文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興 趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単 位 %	13.8	14	15	16	17	17	B	
			14.2	15.4	-	-	-	90.6	
		8	06010500 望ましい食習慣を育む学校給食の充実 給食食材に占める地場農産物の使用割合 単 位 %	46	46	46	46	46	46
45.2	45.6				-	-	-	99.1	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名	教育次長 滝田 俊一
----------	------------

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
・教育基盤の充実については、学校施設等の環境整備をするとともに、「学校教育の在り方の方針」を踏まえ、姥屋敷小中学校の統合に係る準備を進めました。 ・学校教育の充実については、各小中学校において「滝沢魅力学」を展開し、郷土を愛する心を育むほか、主体的・対話的で深い学びを推進しました。 ・生涯学習とスポーツの推進については、関係機関や庁内関係課と連携したセミナーを開催するなど、学びの機会の提供を図りました。 ・文化芸術の振興については、郷土芸能保存団体の後継者育成支援を拡充するなど、活動環境の整備を図りました。 ・学校給食の充実については、食材料費が高騰する中、安全安心で栄養バランスの取れた給食を提供しました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 ・児童生徒の安全安心な学びのための学校施設等の環境整備 ・すべての世代の学びあいの場の創出 【重点課題に対する達成状況】 ・一本木小学校屋内運動場など小中学校の校舎等の改修を行い、安全安心な教育環境の整備を行いました。 ・姥屋敷小中学校の統合に向けて、統合準備委員会を設置し、統合に係る諸課題の検討を行いました。 ・課題解決セミナーやリカレント教育推進セミナーを開催するなど、学びあいの場を創出しました。	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 ・教育環境の多様化、複雑化、複合化 ・教育分野におけるデジタル化の進展 ・燃料費、資材費、食材料費等の価格高騰 【内部環境】 ・施設の老朽化や学校のICT化に伴う施設整備事業の増大 ・教育課題や施設の長寿命化への対応など、専門的知識を要する事業の増大 ・社会教育や芸術文化、郷土芸能関連団体等の構成員の高齢化による担い手不足	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする

(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 ・学びによる充実した人生を送ることができるまちの実現に向け、教育環境の充実に向けた取組を引き続き進めます。 ・児童生徒がいきいきと学習できる教育環境の整備を進めます。 ・スポーツ、文化芸術などの学びあいの場について、関係機関との連携により引き続き多様な機会を創出します。 【引継課題】 ・「学校教育の在り方に関する対応方針」を踏まえた「望ましい教育環境」の着実な遂行 ・教育施設設備の計画的な改修等の整備 ・幅広い世代がつながる多様な学びあいの場づくり	

政 策 : 06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

[illegible]

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 熊谷 和久
	税務部長兼会計管理者 勝田 裕征

1. 政策の令和 7年度までの実現状況を明らかにする

(1) 政策のビジョン（政策が実現できたときの状態）

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
市税の適正な賦課と公平な徴収を行うことで自主財源を確保するとともに、公金の適正な管理と運用を行うことで市政経営の安定した基盤を確保します。また、多様な環境変化の中、「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向け、「市民生活の堅持」と「市民の行動を後押しできる環境整備」のため、滝沢の価値と未来を創造する人材の育成や経営資源の確保と資源配分の最適化により、持続可能な行財政経営を進める部門を目指します。	
【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	
経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)の確保と最適化により持続可能な行財政経営を堅持することが「やさしさに包まれた滝沢」の実現に繋がります。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標1 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	B	
			34.4	40.2	-	-	-	98.5	
2	指標2 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	B	
			47.4	50.4	-	-	-	99.6	
	単 位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施 策 名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施 策 関 連 指 標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	07010100 新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築 職員の研修参加者数 単 位 人	786	800	805	810	815	815	A	
			855	898	-	-	-	110.2	
2	07010100 新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	B	
			34.4	40.2	-	-	-	98.5	
3	07010200 行政経営による総合計画の推進 政策達成度(政策達成評価において【達成した】又は【概ね達成した】と評価した割合) 単 位 %	0	50	50	75	100	100	A	
			100	100	-	-	-	100.0	
4	07010200 行政経営による総合計画の推進 施策達成度(施策達成評価において【達成した】又は【概ね達成した】と評価した割合) 単 位 %	0	50	50	75	100	100	A	
			100	100	-	-	-	100.0	
5	07010300 たきざわの魅力発信による愛着づくり 滝沢市に愛着がある人の割合 単 位 %	68.9	70.5	72	73.5	75	75	B	
			71.3	72.8	-	-	-	97.1	
6	07010400 デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	B	
			34.4	40.2	-	-	-	98.5	

前期基本計画 令和 7 年度 政策方針評価書

政 策 ： 07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 熊谷 和久
	税務部長兼会計管理者 勝田 裕征

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
7	07010400 デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用								
	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合								
	単 位 %	46.6	47.6 47.4	48.6 50.4	49.6 -	50.6 -	50.6 -	B 99.6	
8	07010500 次世代につなげる財政運営								
	滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合								
	単 位 %	36.8	37.8 34.4	38.8 40.2	39.8 -	40.8 -	40.8 -	B 98.5	
9	07010500 次世代につなげる財政運営								
	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合								
	単 位 %	46.6	47.6 47.4	48.6 50.4	49.6 -	50.6 -	50.6 -	B 99.6	
10	07010600 適正で効率的な課税事務の推進								
	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合								
	単 位 %	46.6	47.6 47.4	48.6 50.4	49.6 -	50.6 -	50.6 -	B 99.6	
11	07010700 市政経営のための確実な税財源の確保								
	一般税の収納率								
	単 位 %	97.8	98 98.2	98 98.3	98 -	98 -	98 -	A 100.3	
12	07010700 市政経営のための確実な税財源の確保								
	目的税の収納率								
	単 位 %	86.1	87 86.9	87 87	87 -	87 -	87 -	A 100.0	
13	07010700 市政経営のための確実な税財源の確保								
	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合								
	単 位 %	46.6	47.6 47.4	48.6 50.4	49.6 -	50.6 -	50.6 -	B 99.6	
14	07010800 市民に信頼される会計事務の実現								
	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合								
	単 位 %	46.6	47.6 47.4	48.6 50.4	49.6 -	50.6 -	50.6 -	B 99.6	
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								

前期基本計画 令和 7年度 政策方針評価書

政 策 ： 07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 熊谷 和久
	税務部長兼会計管理者 勝田 裕征

2. 政策の実現に向けた令和 7年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取組と方針の達成（実現）状況

B	概ね達成した
- 人材の確保と人材育成方針に基づく職員の育成を推進しました。 - 総合計画の確実な推進を図りました。 - 全庁の職員が生成AIを活用できる環境を整え事務効率化を進めました。 - 課税システムを標準準拠システムに移行し、信頼される納税環境の維持に努めました。 - 電子取引を踏まえた電子帳簿等の調査研究を行いました。	

(2) 令和 7年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
【重点課題】 - 適正な人員配置による働きやすい職場環境の整備と人材育成方針に基づく職員の育成 - 総合計画の確実な推進並びにヒト・モノ・コトをつなぎ地域愛着の醸成を図る取組の推進 - 新たなデジタル技術による業務効率化や電子申請などDXの推進 - 課税事務の電子化の推進とシステム標準化への計画的取組並びに電子帳簿等に対応するための調査研究 【重点課題に対する達成状況】 - 働きやすい職場環境の整備のため、職員のエンゲージメント調査の実施しました。 - 総合計画推進に向けた事務事業の性質区分(義務・非義務)の実施と共通事務に係るシステムの標準化へ対応しました。 - 課税事務の電子化の推進とシステム標準化への計画的取組並びに賦課徴収に関するシステムの信頼性の維持しました。	

3. 政策の実現に向けて、令和 7年度実施後の変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
【外部環境】 - 少子高齢化による人口減少が加速。各業態で人手不足と物価や人件費の高騰 - 生成AIの能力が飛躍的に進歩し、日常的に様々な分野で活用が促進 - コミュニティの多様化が進み、旧来の地域(エリア)によるコミュニティの維持の困難化 【内部環境】 - 職員の休職、離職者の増加など、時代に応じた働き方改革が急務 - 財政調整基金の金額の維持について、物価高騰から難しい状況 - 職員の働き方の効率化に生成AIを効果的に導入する必要性の高まり	

4. 政策の実現に向けた今後の取組と方向性を明らかにする

(1) 令和 9年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 - 職員の離職に歯止めがかからない状況から、働き方について体制面とメンタル面双方の対応が必要です。 - 物価高騰が続く中、今後の財政運営についてより計画的な対応が求められます。 - 慢性的な人員不足への対応のため、DXの推進、生成AIのより効果的な活用が急務となります。 【引継課題】 - 人材育成のためのグループ制の試行と本格実施の準備 - 業務量の増に対応するDXの推進	

政 策 : 07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

(2) 所管施策別事業費実績表

24